

# 令和元年度第1回メディカルデザイン・セミナー ～医療機器の開発と事業化の実際～

主催：国立大学法人富山大学

共催：富山県、公益財団法人富山県新世紀産業機構

協力：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、株式会社北陸銀行



講師 澤田真言氏

米国Pall Corporation研究員、コーディスジャパン株式会社薬事・品質管理担当マネージャー、日本ガイダンス株式会社薬事臨床開発部部長を歴任、現在、NACアール・エー株式会社代表取締役、株式会社多磨バイオ共同創業者 兼 代表取締役



講師 梅田和宏氏

日本アジア投資株式会社本社社長室長、株式会社産業革新機構ヴァイスプレジデント、文科省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム推進委員会委員などを歴任、現在、株式会社多磨バイオ共同創業者 兼 取締役、エムスリーアイ株式会社代表取締役社長

工業先進国の我が国にあって、医療福祉機器は珍しく輸入超過の状態にあります。それは見方を変えれば、医療福祉機器産業分野に伸び代があるということです。ただ、医療福祉機器産業に参入するためには関連法規への対処やシーズを事業に結びつけるプロセスが難しいと考えられています。また産学連携で開発・事業化を進める場合はさらに留意すべき点が出てきます。今回はこれらの問題に精通している講師の方々に、事例を交えながら、壁を乗り越える方法論をお話し頂きます。

2017年9月に厚生労働省より製造販売承認を取得したデュラビーム® →



←イオンビーム照射装置の構造図

日時：2019年11月8日(金) 13:00～15:30

場所：富山県民会館702号会議室(なるべく公共交通機関をご利用ください)

次第：

13:00～13:05 開会の挨拶 富山大学工学部教授 田端俊英(司会)

(公財)富山県新世紀産業機構イノベーション推進センター長 二口友昭

13:05～14:05 講演1 澤田真言氏 「イオンビーム照射ePTFEの人工硬膜への応用:Regulatory Scienceの考え方」  
多くの医療ベンチャーが製造販売承認を取得するのに、時間とコストがかかりすぎ、Death Valleyに陥っているのが現状です。そこでいかに短期間でかつ最低の費用で、承認を取得するかのレギュラトリーサイエンスを説明させていただきます。

14:05～14:10 質疑応答

14:10～14:20 休憩

14:20～15:20 講演2 梅田和宏氏 「シーズロケット事業 理研特許からの事業化」

多磨バイオは理研が持つ2つの特許から事業化されました。多磨バイオを事例に事業計画作成のプロセスから機関投資家の審査ポイント等について説明させていただきます。

15:20～15:25 質疑応答

15:25～15:30 お知らせ

15:30 閉会の挨拶 富山大学理事・副学長・研究推進機構長 北島勲

定員：45名

参加申し込み：11月1日までに富山大学工学部 田端 ([ttabata@eng.u-toyama.ac.jp](mailto:ttabata@eng.u-toyama.ac.jp)) に電子メールでご芳名、ご所属、ご職位をお知らせ下さい。参加費は無料です。

その他：当日、参加者の皆様にアンケート調査を行う予定です。

※本セミナーは、公益財団法人富山県新世紀産業機構「メディカルデザイン開発推進事業」の委託により実施されるものです。